

MDV診療データ調査リリース vol.1 「糖尿病に関する薬剤処方実態調査」

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役:岩崎 博之 以下、MDV)は、株式会社日本経済新聞デジタルメディア(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:木本芳樹)が手がける日本最大級の会員制ビジネス情報検索サービス「日経テレコン」に、病院における薬剤処方実態や各疾患領域の患者規模状況などを明らかにする「MDV診療データ」()を配信しています。

この度、「MDV診療データ」に配信しているテーマのうち、「糖尿病」「高血圧」「高脂血症」をはじめとした合計6テーマをそれぞれ年2回ずつ合計12回発表(予定)することを決定いたしました。

第1回の今回は、特に注目の高い糖尿病に関する薬剤処方実態について、新たに調査分析した結果をお知らせいたします。

【 サマリ 】

2011年10月～2013年9月の2年間でDPP- 阻害剤の処方患者数は約1.7倍に

DPP- 阻害剤エクアの処方患者数は1年間で倍増

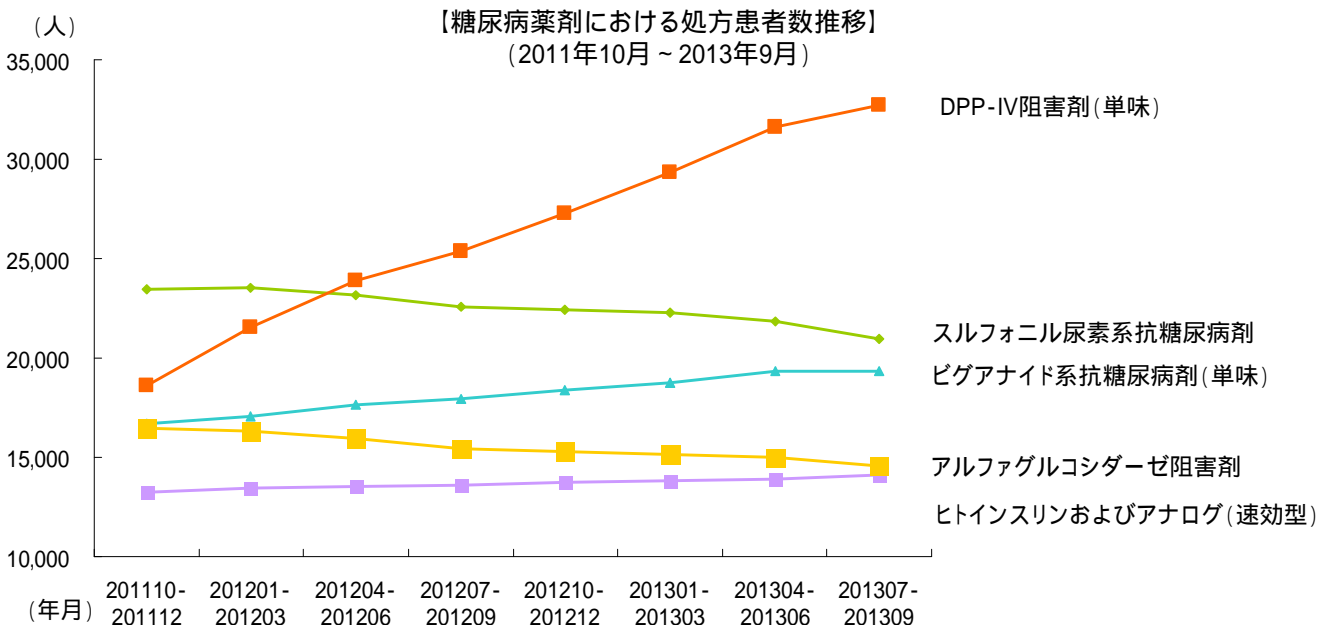
先発品のアマリールは処方患者数が減少、後発品のグリメピリドは順調な伸び

糖尿内科及び糖尿病科では後発品の糖尿病薬剤の処方患者数はゼロ

【2011年10月～2013年9月の2年間でDPP4阻害剤の処方患者数は約1.7倍に】

まず、2011年10月～2013年9月の2年間ににおける糖尿病薬剤における処方患者数の推移をみてみます。

DPP- 阻害剤は、2011年10月～12月では処方患者数が約19,000人だったのに対し、2013年7月～9月での処方患者数は約33,000人となり、2年間で処方患者数は1.7倍となりました。一方、スルフォニル尿素系抗糖尿病剤、ピグアナイド系抗糖尿病剤(単味)をはじめとするその他糖尿病薬剤に関しては、ほぼ横ばいの処方患者数となっています。



【DPP- 阻害剤エクアの処方患者数は1年間で倍増】

次に、2012年7月～9月、2013年7月～9月のそれぞれ3ヶ月間での糖尿病薬剤製品別の処方患者数のランキングをみてみます。

2012年7月～9月における処方患者数ランキングは、1位アマリール(17,261人)、2位メトグルコ(12,795人)、3位ジャヌビア(10,212人)、4位アクトス(7,859人)、5位ベイスン(7,753人)となりました。2013年7月～9月における処方患者数ランキングは、1位アマリール(16,207人)、2位メトグルコ(15,772人)、3位ジャヌビア(10,910人)、4位エクア(7,275人)、5位グラクティブ(7,102人)となりました。2012年2013年とも1位及び2位の変化はありませんが、2013年にはDPP- 阻害剤が3位から5位までを占める結果となりました。特にエクアは、2012年7月～9月における処方患者数が3,651人(14位)だったのに対し、2013年7月～9月における処方患者数は7,275人(4位)へと倍増しています。

【糖尿病薬剤 処方患者数ランキング】
(2012年7月～2012年9月)

順位	製品名	実患者数(人)
1	アマリール	17,261
2	メトグルコ	12,795
3	ジャヌビア	10,212
4	アクトス	7,859
5	ベイスン	7,753
6	グラクティブ	7,348
7	ノボラピッド	6,514
8	ランタス	5,657
9	ヒューマログ	4,946
10	ネシーナ	4,450

【糖尿病薬剤 処方患者数ランキング】
(2013年7月～2013年9月)

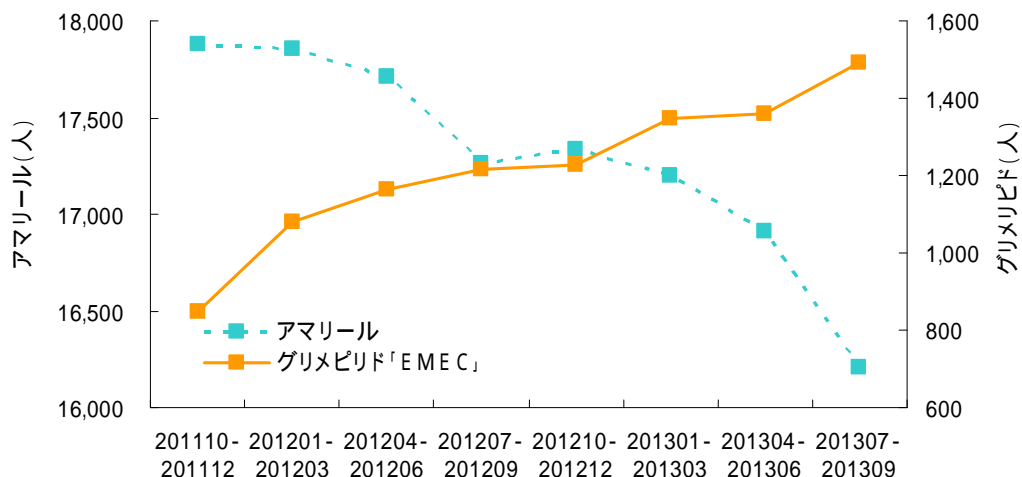
順位	製品名	実患者数(人)
1	アマリール	16,207
2	メトグルコ	15,772
3	ジャヌビア	10,910
4	エクア	7,275
5	グラクティブ	7,102
6	アクトス	7,084
7	ベイスン	7,065
8	ノボラピッド	6,277
9	ランタス	6,213
10	ネシーナ	4,996

あみがけ部分はDPP- 阻害剤

【先発品のアマリールは処方患者数が減少、後発品のグリメピリドは順調な伸び】

2012年7月～9月、2013年7月～9月において処方患者数が1位となったアマリールですが、当該薬剤の後発品としてグリメピリドが2010年より発売開始されています。先発品と後発品の処方患者数推移をみると、先発品であるアマリールの処方患者件数は2年間で10%程度落ち込んでいる一方、後発品のグリメピリドの処方患者は約1.7倍と順調な伸びをみせています。

【アマリール(先発)及びグリメピリド(後発)の処方患者数推移】
(2011年10月～2013年9月)

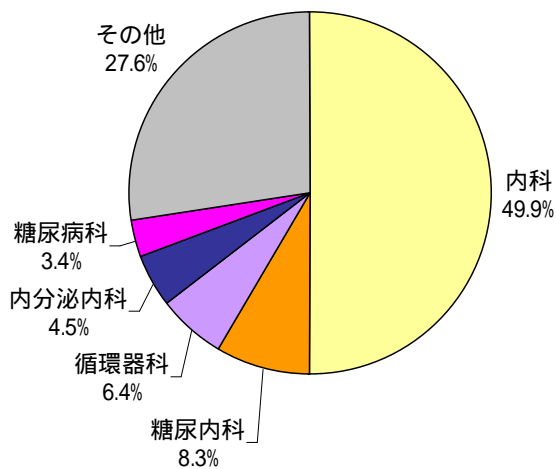


【糖尿内科及び糖尿病科では後発品の糖尿病薬剤の処方患者数はゼロ】

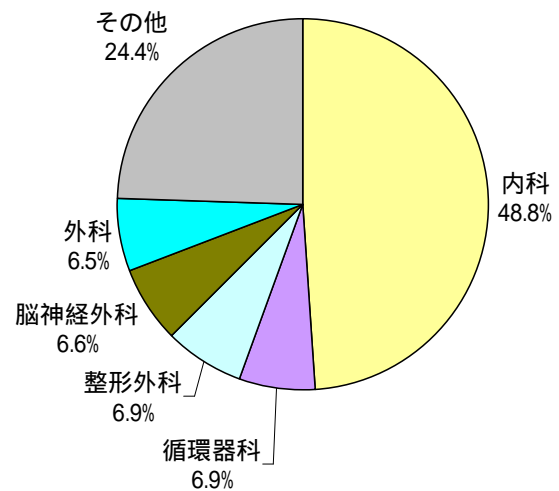
次に、糖尿病薬剤の先発品と後発品における診療科別処方患者数をみます。

先発品では、1位内科(49.9%)、2位糖尿内科(8.3%)、3位循環器科(6.4%)、4位内分泌内科(4.5%)、5位糖尿病科(3.4%)となり、後発品では、1位内科(48.8%)、2位循環器科(6.9%)、3位整形外科(6.9%)、4位脳神経外科(6.6%)、5位外科(6.5%)という結果となりました。糖尿内科及び糖尿病科においては先発品が多く処方されているのに対し、後発品においては両診療科ともに処方患者数がゼロという結果となりました。

【先発品における診療科別処方患者数割合】
(2011年10月-2013年9月)



【後発品における診療科別処方患者数割合】
(2011年10月-2013年9月)



【調査概要】

調査手法：当社が保有する「診療データベース」より抽出分析

調査対象：二次利用の許諾を得た約131の急性期病院(がん拠点病院44病院を含む)のうち、調査対象期間のデータが全てそろっている58病院

調査期間：各項目に記載

() 「MDV診療データ」とは

「MDV診療データ」は、病院における薬剤処方実態や各疾患領域の患者規模状況など、様々な薬剤に関する情報を、日本最大級の会員制ビジネス情報検索サービス「日経テレコン」に配信するものです。当社が保有する診療データベースを分析することにより、今まで把握困難だった病院における薬剤処方実態の把握が可能となりました。

更新日時 土日・祝日を除く毎日午前

提供内容 月：疾患別シェアランキング(最新月)
火：薬剤別シェアランキング(最新月)
水：疾患別シェアランキング(最新月)
木：薬剤別シェア推移(4半期別)
金：疾患別シェア推移(4半期別)

情報利用料金 見出し：無料、本文(表)：1,050円/件 別途「日経テレコン」月額基本料金が必要です